

廃棄物の悩みをエネルギーに変換！

コンパクトな発酵システムでバイオガス供給

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社ヴァイオス(和歌山県和歌山市、吉村英樹代表取締役)が提案する「小型メタン発酵システムによって有機性廃棄物を肥料化・発電する基礎調査」(タイ)を採択しました。

タイでは経済発展とともに大量の廃棄物が発生しており、その多くは水分を多く含む食品残渣などの有機性廃棄物のため、焼却や埋め立てによる処理に適さず悩みの種となっています。

廃棄物処理のエキスパート企業である株式会社ヴァイオスは、廃棄物をエネルギー化することで、廃棄物処理とエネルギー供給と言うタイの課題を解決することを目指し調査を行います。

同社の発酵槽とバイオガス供給+発電システムはコンテナ型でコンパクトな点が特徴で、食品加工業や農業分野での活用が期待されています。今回の調査では、現地の政府関係機関等へのヒアリング調査などを通して、法規制や現地の廃棄物処理の現状等を調査します。



コンテナ型システム



本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携事業～基礎調査～」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2016年度は本年2月に第1回目の公示を行い、41件の応募のうち12件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。参考:(プレスリリース)基礎調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 小西

TEL 078-261-0397 e-mail: Konishi.Yoko.2@jica.go.jp